

# たんけん「なつのくさぼな」

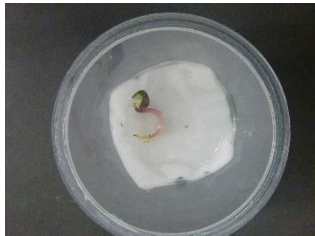


きいろいはながさき、そのあとに わたげができる。たんぽぽににているが、いっぽんのくきに たくさんのはながさき、ぎざぎざのはっぱが、うへのほうまで ついている。・・・「の〇〇」または「おにの〇〇」



いま、あちこちの 道端でみかけるくさです。稲穂のように、先っぽがたれさがっていますね。よく見ると、前に紹介した、イヌムギのような穂がたくさんついています。中には、まっすぐ立って、一つひとつの穂から、小さな黄色いものがでてくるかも。これが花です。名前は、日本髪を結うとき、膨らませるために入れる髪の毛「かもじ」ににているので、「カモジグサ」です。

## アサガオにつき7日目



たねからでた、しろいものが、ぐんぐんのびてきました。さきのほうに、ちいさなひげがついています。たねのほうには、みどりいろのなにかが、みえます。

## 〈さくらんぼ〉



体育館の南側（坂道のフェンス沿い）にあるサクラの木を見ると写真のような 小さい赤い実が たくさんなっています。さくらんぼの実です。門から下足室に続く体育館のよこにも、ちらほらですが、赤い実がみられます。どうして今年はこんなにたくさん実がついているのでしょうか。今年、サクラの花は、いつもの年より長く咲いて、最後は一気に花吹雪が舞い、人気のないコンクリート広場に積もるほどでした。定かではありませんが、「長く咲いていた」「人気がない」ということが、もしかしたら、ミツバチやチョウなどの「受粉」活動がいっぱいできて、実がたくさんできたのかもしれないですね。ただ、土曜日の強風で、門から下足室のサクラんぼの実はほとんど落ちていました。

この後 大きくなっても酸っぱいかもしれませんが、もし甘くおいしくなったら、きっと野鳥が集まってくるはずです。